

株式会社フジテレビジョン

女性活躍推進法に基づく「行動計画」

採用した労働者に占める女性労働者の割合、男女の平均継続勤務年数の差異、管理職に占める女性労働者の割合など国の定める目安値を超えており、女性の活躍が比較的進んでいる。しかし、これまで以上に女性が活躍できる職場環境を作るため、次のように行動計画を策定する。

計画

期間：令和3年4月1日～令和8年3月31日

当社の状況

- (1) 労働者に占める女性の割合は国の定める目安値を超えている。
- (2) 男女の平均継続勤務年数はほぼ同水準となっている。
- (3) 管理職に占める女性労働者の割合も国の定める目安値を超えている。

目標と取組内容

目標1

「採用した労働者に占める女性労働者の割合」が30%以上になるように意識して採用活動を進める。

※令和2年度採用実績 40.5%

<取組内容>

- 引き続き、女性が働きやすい職場環境であることをPRしながら採用活動に取り組む。

<取組の実施時期>

令和3年4月1日～

目標2

「男女の平均勤続年数の差異」を中長期的な期間でも維持・縮小できるように努力する。

※令和2年3月末実績 平均勤続年数 男性 19.40年 女性 17.82年
男女の平均勤続年数の差異 1.58年を縮める。

<取組内容>

- 男女の区別なく仕事の効率や成果に応じた公正な評価・処遇体系を維持する。
- 引き続き、法定を上回る育児や介護による休職制度を維持し、更に研修等で社員への周知を徹底する。

<取組の実施時期>

令和3年4月1日～